

事業概要説明シート

事務事業番号 10402300014

事務事業名	市民病院施設維持管理事業		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業期間	～	担当部署	病院総務課	
総合計画体系	(施策目標) 30:生命を支える医療体制を強化する			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	<ul style="list-style-type: none"> 市立枚方市民病院防火管理規定 市立枚方市民病院電気工作物保安規程
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	病院利用者が安全に快適に施設を利用できるように、病院施設及び設備の維持管理を適切に行う。
対象(誰・何を対象に)	病院利用者
事業内容	病院建物の修繕・維持管理、空調設備の改修等、病院施設全般の維持管理を適切に執行する。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	国公立・民間病院
事業の必要性	病院を運営していく上には施設の維持管理は必要である。

コスト										
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費			
正職員	1.02人	8,160千円	1.02人	8,064千円	0.02人	159千円				
再任用職員	1.0人	3,471千円	人	0千円	1.0人	3,874千円				
非常勤職員等	人	千円	1.0人	2,946千円	1.0人	3,158千円				
人件費計(A)		11,631千円		11,010千円		7,191千円				
直接経費(B)		351,704千円		370,153千円		千円				
総事業費(A+B)		363,335千円		381,163千円		7,191千円				

財源内訳										
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算		
国庫支出金		千円		千円		千円				
府支出金		千円		千円		千円				
受益者負担(使用料等)	362895	千円	380,605	千円		千円				
その他		千円		千円		千円				
一般財源	440	千円	558	千円	7,191	千円				

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容					金 額
	施設管理委託料 129,402千円 光熱水費 116,779千円 燃料費 17,420千円					369,637
	機械設備保守委託料 34,662千円 修繕料 15,939千円 減価償却費 55,435千円					

事業概要説明シート

事務事業番号 10402300014

事務事業名	市民病院施設維持管理事業	類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業開始年度	～	担当部署	病院総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 平成17年度の電気使用量を基準として3%削減を目標とする。	%	3.6	1.6	3.0 (4月～9月分)
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	平成17年度の電気使用量を基準とし3%の削減を目標とする。 老朽化した施設・設備を効率的かつ適切に維持管理し、安全で快適な利用環境を提供する。				
成果目標 達成状況	平成17年度の電気使用量を基準に3%の削減を目標にしていたが、平成25年度は1.6%の削減に留まった。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府内の同規模病床数の公立病院の光熱水費 本院(335床) 延面積(17,390㎡) 116,779千円 ※ 他病院の決算額は現時点では、公表されていないので後日記入する。 				
事業のPR	広報ひらかた、病院ホームページ等で病院情報を発信している。特に最近では新病院の建設状況を中心に情報提供している。				
市民満足度	新病院の施設維持管理業務は、総合評価入札制度を活用し価格面だけでなく業務内容の質も重視し委託事業者の決定を行った。また建物のアメニティの向上も図られており、満足度の向上が期待できる。なお、引き続き毎年実施しているアンケート、ご意見箱への投書等で患者様のご意見をお聞きし、満足度の向上に努めていく。				
特記事項	平成26年秋開院の新病院は現病院の1.8倍の延床面積を有し、また医療機器の充実にも努めたことから電気使用量の大幅な増加が予想される。また面積の増により施設管理委託料も増加する。一方で、太陽光発電の設置や照明器具をLED化など省エネルギーに配慮した設備となっている。また、老朽化が著しかった旧病院と比較して、修繕料の削減も見込まれる。 現在電気使用料の削減を目標に平成17年度の使用料を基準としてきたが、新病院開院後は、従来の指標では比較し難く、新しい指標の設定が必要となる。平成27年度の電気使用量が今後の指標となるので、引き続き電気使用量の削減に努める。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	新病院における施設維持管理事業については、開院前であり未確定の要素が多いが、モニタリング等により業務の質の維持向上に努める。また、新病院開院後の電気使用量が今後の基準となるが、引き続き節電に努め適切な基準の設定を行う。
一次評価結果	・不確定要素が多い開設時に、効率性の視点で費用の増大化を抑えること。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		